

会 議 録

会議名	令和6年度第1回和泉市公共施設マネジメント推進本部会議
開催日時	令和6年11月20日（水）午前10時00分から午前10時26分まで
開催場所	和泉市役所3階3A会議室
出席者	本部長：森吉副市長（本部長）、吉田副市長（副本部長）、大槻教育長（副本部長）、並木参与、山本危機管理部長、前田市長公室長、土本総務部長、山崎環境産業部長、西川福祉部長、立花市民生活部長、藤原子育て健康部長、林田都市デザイン部長、近藤上下水道部長、辻教育次長兼生涯学習部長、東教育・こども部長、岡田消防長 事務局：門林政策企画室長、田嶋政策・資産マネジメント担当課長、加藤総括主幹、丸岡総括主査
議事	議事 （1）和泉市公共施設等総合管理計画（改訂版）の進行管理について （2）第2期個別施設計画の策定予定について その他 和泉市公共施設等総合管理計画（改訂版）への追加資料について（主な具体的取組による効果額）
会議資料	次第 【資料番号1】和泉市公共施設等総合管理計画（改訂版）の進行管理について 【資料番号2】12%縮減の検討対象施設の取組状況 【資料番号3】第2期個別施設計画の策定予定について 【資料番号4】和泉市公共施設等総合管理計画（改訂版）追加資料（主な具体的取組による効果額） 【参考資料1】和泉市公共施設マネジメント推進本部会議設置要綱 【参考資料2】現在予定している主な具体的取組詳細（計画抜粋）
会議の要旨	議事 （1）和泉市公共施設等総合管理計画（改訂版）の進行管理について 概ね計画通り進行していることを確認（計画最終年度（令和28年度）の延床面積縮減見込18.14%）。 （2）第2期個別施設計画の策定予定について 令和7年7月の庁内ヒアリングに向けて、各施設の方針整理を進めるように部局長へ依頼。 その他 和泉市公共施設等総合管理計画（改訂版）への追加資料について（主な具体的取組による効果額） 計画本体に主な具体的取組による効果額の資料を追加する。

発言者	審 議 内 容 (文中敬称略)
事務局	本日の案件は次第のとおり、「和泉市公共施設等総合管理計画（改訂版）の進行管理」等となっている。 議事に入る前にまず、前回の会議の振り返りを行う。 昨年 12 月 22 日に開催した和泉市公共施設等総合管理計画（改訂版）の進行管理の会議においては、計画最終年度である令和 28 年度の延床面積の縮減見込みが計画時点の 17.85%から 18.16%へ増加したことを確認している。 また、次の管理計画の改訂に向けての留意事項として、「運営費用面での削減効果等も踏まえた目標設定等、延床面積以外での目標設定の方法についても検討する。」としている。 以上が、前回の会議の振り返りである。 議事（1）和泉市公共施設等総合管理計画（改訂版）の進行管理について 【資料番号 1】和泉市公共施設等総合管理計画（改訂版）の進行管理について (1 ページ)
事務局	本会議の目的は、各部長のマネジメントのもと実施している計画の進行管理について、各課室等に確認した延床面積の予定等の数値により、その状況を確認するものである。 また、あわせて、施設の最適化や民間活力導入等の積極的な取組事例の共有を行い、市全体の公共施設マネジメントを推進しようとするものである。 (1. 公共施設等総合管理計画における目標設定等について) 計画期間は、平成 29 年度～令和 28 年度までの 30 年間としており、令和 4 年度の改訂にて、目標は令和 3 年度末時点の延床面積を令和 28 年度末までに 30%縮減することとしている。 改訂版では、目標の 30%縮減に対し、18%縮減までの達成見込みで、残り 12%縮減が必要な状況であるが、まずは一定期間を要する 18%縮減の取組を着実に実行するための進捗管理に取り組むとしている。 残る 12%縮減については、社会情勢の変化や老朽化の状況等を注視しながら、必要に応じて検討に取り組むとしている。 令和 4 年度の改訂を機に毎年この会議で延床面積の増減予定等を管理するとしている。 (2. 目標設定状況) 計画では、延床面積を 159,833 ㎡縮減することを目標としているが、計画策定時点では、18%縮減の取組による 95,107 ㎡の縮減に留まっており、残りの縮減が必要な面積は、64,726 ㎡である。 18%縮減の各取組の対象施設の詳細については、参考資料 2 を参照願う。

(2 ページ)

(3. 令和 5 年度の実績)

昨年度比較して、産業振興プラザ北館譲渡の取組等により延床面積が 943 m²減少している。

(3 ページ)

(4. 本会議での進行管理内容)

18%縮減の対象施設の状況確認と 12%縮減に向けた新たな取組検討の状況を確認し、30%縮減の達成見込みを確認する。

A) 計画と現状の延床面積の比較（令和 5 年度末・令和 28 年度末時点）では、令和 5 年度末時点と令和 28 年度末時点の延床面積について、計画時に予定していた面積と現状の面積を比較する。

B) 計画最終年度末時点（令和 28 年度末）での縮減状況と目標達成率の確認では、現在の予定から令和 28 年度末時点の縮減状況と目標達成率を確認する。

A-1) 令和 5 年度末時点での比較

計画時に予定していた面積よりも 2,121 m²縮減している状況で、主な理由としては、計画の予定にない産業振興プラザ北館の譲渡等によるものである。

A-2) 計画最終年度末時点での比較

計画時に予定していた面積よりも 1,534 m²縮減の予定で、主な理由は資料番号 2 の 12%縮減の検討対象施設の新たな取組によるものである。

【資料番号2】12%縮減の検討対象施設の取組状況

管理計画に延床面積増減の取組が位置付けられていない施設の中で新たな取組を確認した施設を表にまとめている。

令和6年度に確認した新たな取組では、北松尾留守家庭児童会の教室不足による増設や黒鳥山公園便所の老朽化及び民間事業者誘致に伴う建替があった。

これらの令和6年度、令和5年度に確認した新たな取組による延床面積の増減を合計した数値が1,455m²の減少となっている。

【資料番号 1】和泉市公共施設等総合管理計画（改訂版）の進行管理について

(4 ページ)

B) 計画最終年度末時点での縮減率と目標達成率

現在予定している取組での縮減率は 18.14%となっている。

目標達成見込みは約 60%の状況である。

参考として 18%縮減の対象施設の延床面積の年次推移のグラフを掲載している。

富秋中学校校区等まちづくり構想において、計画時から事業手法の見直しや再入札等によりスケジュール変更があったため、計画と現状でずれが発生しているものの、計画最終年

事務局	度においては、計画よりも減少している。 (5. まとめ) 令和5年度末、計画最終年度末時点のどちらも概ね計画どおり進行している。 現在予定の取組での縮減率は18.14%のため、30%縮減に向け、計画等が未定の施設の新たな取組検討が必要である。 今後も引き続き、計画を着実に実行するため、各部長のマネジメントのもと進行管理を願う。
森吉本部長	事務局から説明があったが、質問や意見等はないか。
林田部長	資料番号1の表中の縮減率の数値について、表中での計算方法が書かれておらず、理解しにくいものとなっているため、表記の工夫を願う。
事務局	来年度以降の資料作成時には、表中での計算方法を記載する等、わかりやすい資料となるよう対応する。
森吉本部長	他に質疑等ないため、説明にあったとおり、計画目標達成に向けて、引き続き、各部長のマネジメントのもと計画の進行管理を願う。 議事(2)第2期個別施設計画の策定予定について 【資料番号3】第2期個別施設計画の策定予定について (1. スケジュールについて) 現行の第1期和泉市個別施設計画は令和3年度から令和8年度までの計画期間となっている。 そこで、令和9年度からの第2期和泉市個別施設計画を令和7年度と令和8年度の2年かけて、策定する。 個別施設計画では、個々の施設の改修や建替え、除却等の取組を整理し、現状や費用見込みを示す。 第2期和泉市個別施設計画の内容は、令和9年度中に改訂予定の和泉市公共施設等総合管理計画への反映を予定している。 (2. 老朽化施設の方向性の整理について) 和泉市公共施設等総合管理計画では、「耐用年数満了の10年前をめぐり、様々な観点から施設の必要性・適正規模・あり方等について総合的に判断し、規模の縮小や廃止等も含めて、今後の方向性の検討」となっているものの、政策判断するためには、事前準備等が
事務局	

	必要であるため、「耐用年数が残り 15 年未満の施設」について、個別施設計画の策定や和泉市公共施設等総合管理計画への反映へ向けて方向性を整理していく必要がある。 (3. 部局長への依頼事項について) 個別施設計画策定に向けた事前準備として、延床面積 30%縮減を意識した各施設の方針整理を願う。 特に、耐用年数が残り 15 年以内の施設については、令和 7 年 7 月の進行管理のヒアリングに向けて、部内での方針整理を進めるよう願う。
森吉本部長	事務局から説明があったが、質問や意見等はないか。
森吉本部長	特に質疑等ないため、説明にあったとおり、各部長においては、令和 7 年 7 月の庁内ヒアリングに向けて、各施設の方針整理を進めるよう願う。
	その他 和泉市公共施設等総合管理計画（改訂版）への追加資料について （主な具体的取組による効果額） 【資料番号 4】和泉市公共施設等総合管理計画（改訂版）追加資料（主な具体的取組による効果額）
事務局	まず、この資料を追加する理由であるが、大阪府の要請に基づき、本市の予定している具体的な取組（いわゆる公共施設の再編）のコストを明確化すべく、既存資料を用いて、対応するものである。 (1 ページ) この追加資料は、令和 4 年 12 月に改訂した和泉市公共施設等総合管理計画（改訂版）に記載している主な具体的取組（この資料では、この取組のことを、「再編」と呼ぶ。）による効果を確認するための追加資料であることを記載している。 効果額については、取組を実施することによる建物の修繕や改修、建替等にかかる更新等費用の削減額や取組に要する費用から算出する。 (2 ページ) (1. 再編による効果額の算出方法) このページでは効果額の算出方法を掲載している。 ①再編を実施しなかった場合の更新等費用については、和泉市公共施設等総合管理計画（改訂版）のデータを使用している。 ②再編を実施した場合の更新等費用については、①のデータを取組の内容に応じて修正して算出している。

	取組対象施設の建替や除却等の費用は、後の③に計上している。 ③再編に要する費用については、主に、和泉創発プラン（改訂版）のデータを用いて算出している。 これら①～③の差引により効果額を算出する。 (3 ページ) (2. 更新等費用) ①再編を実施しなかった場合の更新等費用の見込を年度別に掲載している。 令和 4 年度から令和 28 年度までの合計が 1,415.5 億円である。 (4 ページ) ②再編を実施した場合の更新等費用の見込を年度別に掲載している。 令和 4 年度から令和 28 年度までの合計が 873.7 億円である。 (5 ページ) ③再編に要する費用の見込を取組ごとに年度別に掲載している。 令和 4 年度から令和 28 年度まで各取組の合計が 358.9 億円である。 (6 ページ) (3. 再編による効果額) 先ほどの①～③の費用の差引により再編による効果額を年度別に算出している。 令和 4 年度から令和 28 年度までの効果額の合計が 182.9 億円となっていることが確認できる。 (7 ページ) 参考として、各年度末時点の延床面積の計画時の予定と現在の状況を掲載している。
森吉本部長	事務局から説明があったが、質問や意見等はないか。
吉田副本部長	今回の和泉市公共施設等総合管理計画の改訂時には、この効果額の部分も計画本体に盛り込むのか。
事務局	令和 9 年度の改訂時には、取組による効果額も計画本体に盛り込むことを検討する。
吉田副本部長	この会議で検討するとなった内容をどのように引き継いで担保していくのか。
事務局	今後の検討課題等については、単に会議録の本文中に残すだけでなく、文末に今後の検討課題・留意事項という項目を設けて記載したり、次回の会議時に振り返り事項として共

	有したりする等の次につながるような工夫を行っている。
森吉本部長	他に質疑等ないため、この件に関して、これで終了する。 事務局においては、資料追加の手続きを進めることとする。
森吉本部長	予定している議事は以上である。 和泉市公共施設等総合管理計画の進行管理においては、現時点では、概ね計画時に予定していたとおりの延床面積になることを確認しているが、計画目標である延床面積 30%縮減に向けては、残り 12%の縮減が必要で、さらなる取組の検討が必要である。 今のところ大きな事業を予定していないが、そういった中では、各部長がそれぞれの所管施設について、延床面積を少しでも縮減するということを念頭に進めていくことで、結果的に残る 12%縮減に近づいていくと考えるため、検討願う。 令和 7 年度からは第 2 期個別施設計画の策定に着手することから、各部長においては、社会情勢の変化や施設の老朽化を注視しつつ、各施設の方針整理を願う。 なお、安易に建替や長寿命化を選択するのではなく、施設の必要性を見極めつつ、和泉市の将来を見据えたマネジメントを願う。 以上をもって、令和 6 年度第 1 回和泉市公共施設マネジメント推進本部会議を終了する。 以 上

今後の検討課題・留意事項	
・ 目標設定について	次の計画改訂に向けて、運営費用面での削減効果等も踏まえた目標設定等、延床面積以外での目標設定の方法についても検討する。
・ 取組による効果額について	次の計画改訂に向けて、計画本体に取組による効果額を盛り込むことを検討する。
・ 次回の会議にあたって	冒頭にて、前回の会議の振り返りを設け、主な意見、対応方針を確認する。